

	通 告 者	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	答 弁 を 求 め る 者
1	大西知幸 議員	1 町道整備について	<p>町道北5条線は、町民体育館付近から高等学校へ向かう道路で、通学路として、また、近くには幾寅老人憩の家があり老人クラブへ通う高齢者や町内会の会合で多くの人がこの道路を利用しております。時には富良野方面から帯広方面へ向かう車が信号を避けるため、急に左折して猛スピードで通過していきることがあり危険と感ずることがあります。更に国道と町道の交差点付近では町道側が低くなっており、春先の融雪期には大きな水たまりができ、その水たまりを避けながら歩行者は通行している状況であり、過去には大雨時に付近の住宅が床下浸水したこともあります。このような状況を踏まえると現在は歩道が一部しか整備されていなく、歩行者の交通安全上、早急に歩道整備と併せて排水整備も必要だと考えております。</p> <p>第6次総合計画によりますと、道路整備は「通学路など生活に密着した道路等に係る道路を中心に町道改良・舗装や維持補修を計画・効率的に推進する。」となっておりますが、この道路の今後の整備について町の考え方を伺いたします。</p>	町 長
		2 工事入札不正行為の再発防止に向けての取組とその効果について	<p>道の駅再編整備事業の工事を巡る官製談合防止法違反などの事件から1年が経過し、その間、工事入札不正行為の再発防止に向けての取組が行われ、その取組については広報誌等で周知されておりますが、改めて簡潔にその内容と改善策によってどのような効果があったのか伺いたします。</p>	町 長
2	曾慶一介 議員	1 職員の町民に対する接遇について	<p>令和5年度の町政執行方針の中で、信頼回復の決意5箇条の1つに町民に対する接遇について触れておりますが、多年にわたり指摘されてきた接遇問題が、なぜ今もなお問題視しなければならぬのか大変疑問が残り懸念するところでございます。</p> <p>全職員に意識改革を求め互いに意識し合いながら向上に努めていくとありますが、社会が複雑で多様化する時代になり根本理念である「自治の主役は町民である」そのことを考えた時、行政の職員と町民との信頼関係、コンセンサスの重要性が更に求められると思っており、論理も必要ですが情動、いわゆる心の働きかけも必要で、問題の本質を捉え直し視点を変えていくことが望ましいと思っておりますが、次の2点について伺いたします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 町長をはじめ職員と町民との接し方をどのように日頃取り組んでいるのか。又、指導しているのか。 2. 町職員と町民の日頃の接点がほとんど見えていないと思わざるを得ないが、町職員は日頃より町民の声をどのような方法で聴いているのか。 	町 長

	通 告 者	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	答 弁 を 求 め る 者
3	十河総子 議員	1 道の駅における農産物直売所について	<p>どこの道の駅も時期ともなれば様々な採れたての新鮮野菜が店先を彩り、大盛況であるが、本町の住民、飲食店などからも新鮮野菜を求める声を多数聞いており、特に飲食店に地場野菜を使ってもらうことは理に適うと思っています。</p> <p>第一次産業が農業である地域柄、様々な野菜が作られており、ビニールハウスなどで作りすぎてしまった野菜や、出荷できないB級野菜を「ぶこつ野菜」として安価で販売したりすることも、昨今のSDGSの観点に合致していると考えます。</p> <p>このことから本町でも道の駅に農産物直売所を開設することで、更なる賑わいの一助となると思われませんが、町としての考えをお伺いいたします。</p>	町 長
4	渋谷浩岐 議員	1 JR根室線の廃線後について	<p>来年の3月31日でJR根室線の富良野新得間が廃止されますが、現在の駅舎並びに施設敷地について、JR北海道が廃線後何か利用しようとしているのか、若しくは町が何か利用を考えているのか、お伺いいたします。</p>	町 長
5	鷹嘴充子 議員	1 町の福祉政策について	<p>少子高齢化の進行・不安定な社会情勢・価値観の多様化により、今後ますます地域福祉の重要性が増していくと思われませんが、財政的な課題、人材確保や施設維持の課題、法制度の変化への対応等、福祉を取り巻く環境は年々厳しさを増していると考えています。我が町における福祉の現状と今後の課題をどのように考えているか町長の考えをお伺いいたします。</p> <p>また、福祉事業を取り巻く環境も年々厳しさを増していますが、そのような福祉事業に対する行政の支援策についても町長の考えをお伺いいたします。</p>	町 長